

通し番号	5024
------	------

分類番号	R02-3B-12-09
------	--------------

青ウメ品種‘白加賀’と同時期に収穫でき、安定して高収量が得られる新品種‘翠豊’を育成しました	
[要約] 青ウメ品種‘白加賀’に代わる新品種‘翠豊’（すいほう）を育成した。‘翠豊’は、‘白加賀’とほぼ同時期に収穫でき、ヤニ果等の発生も少なく、毎年、安定して高収量が得られる。	
神奈川県農業技術センター・生産技術部	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

県内の青ウメ主要品種‘白加賀’は収量が少なく、着果も不安定であるため、安定的に高収量が得られる青ウメ品種の育成が望まれている。

そこで、‘白加賀’と同時期に収穫でき、品質の良い果実が安定して収穫できる青ウメの新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 ‘翠豊’（系統名「6-1」）は連年安定して‘白加賀’の2倍以上の収量が得られ、‘白加賀’が不作となった2017年でも約2.4t/10aの収量が得られている（図1）。
- 2 ‘白加賀’と同時期に収穫でき、果実品質に問題はなく、ヤニ果発生も極めて少ない（表1）。
- 3 県内の現地実証圃においても、安定した収量が得られている（データ略）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 2021年3月15日に‘翠豊’として品種登録出願を行い、同年6月29日に出願公表された。

[具体的データ]

収量

(kg/10a)

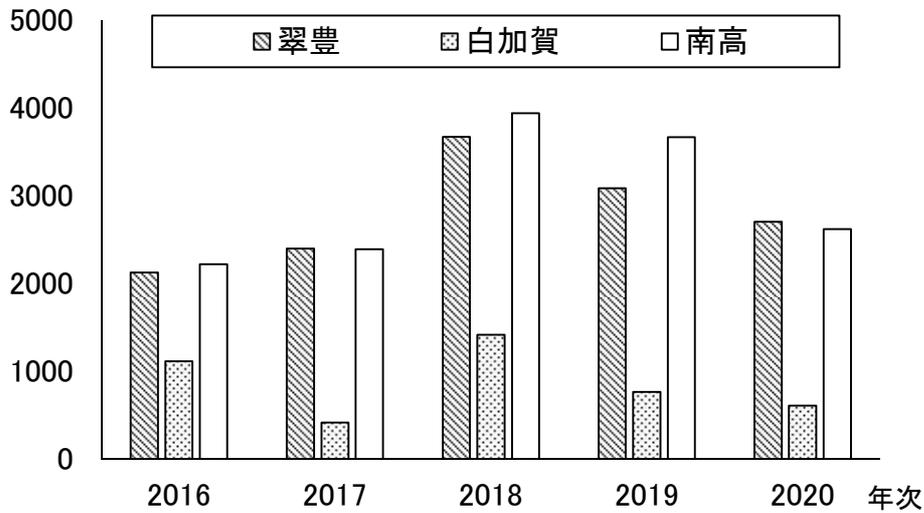


図1 ‘翠豊’の年次別収量の推移

表1 翠豊の収穫最盛期、収量および果実品質

品種名 (系統名)	収穫最盛期 <sup>z</sup>	収量 (kg/10a)	果実重 (g)	核重率 (%)	ヤニ果率 <sup>y</sup> (%)	日焼け果率 (%)
翠豊	6月2日	2704	32.8	10.4	1.2	3.8
白加賀	6月2日	607	31.9	8.4	3.5	2.6
南高	6月18日	2620	34.3	8.8	0.7	20.6
梅郷	6月2日	1704	—	—	—	—

z:収量が全体の50%となる日を収穫最盛期とした

y:ヤニ果率は外ヤニ果の発生率を示す

[資料名] 令和2年度試験研究成績書(果樹)

[研究課題名] ウメの新品種育成

[研究期間] 1997(平成9)年度~2020(令和2)年度

[研究者担当名] 関達哉・伊藤彰倫・廣瀬恭祐・柴田健一郎・曾根田友暁・内山真由美

[協力・分担関係]